

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2018_06_24 鹿児島会場)
 ~みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう~

参加者 49、アンケート回収 42

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	9	
友人・知人の紹介	20	
ウェブサイト・ブログ	10	Facebook 5、当財団 HP 3
メーリングリスト	0	
その他	2	職場 1、研修会 1
未記入	1	
合計	42	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
40	2	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ I・II・IIIともすばらしい講座内容でした。改めてすべての利用者が平等に利用できるために、マジョリティの視点になっているのではないかと自戒した。マイノリティの視点を常に意識していこうと思いました。 ・ 午前中の読み書き障害の特徴と支援方法の実際は、文字が読めていない子どもに対する理解が深まりました。松田先生の実践、とても参考になりました。楽しい読書指導をしたいなという気持ちになりました。午後のこれからの図書館～、何か一つでも実践したいです。 ・ 読書に対するハンディキャップに対して、本などで少しは知識は持っていましたが、かなり専門的なお話を聞くことができ、とても勉強になりました。実践的な話もとても参考になり、当館でも何かできることがないか、スタッフと話をしてみたいと思います。 ・ 心に届く内容でした。知りたい、学びたいということでワクワクしました。 ・ 時間配分も工夫していると思いました。読書バリアフリーについてももう少し理解を深めたいし、学びたいし、広げたいと思いました。生活にうるおいを…と思っています。 ・ 「学習障害」のことが、良く理解できました。もっと良く勉強して、子どもたちへの対応、慎重にしていきたいと感じました。いろいろな事を試して、その子にあった方法を見つけだして、少しでも手助けになれるようにしたいと思います。分かりやすく楽しく講義を受けることができました。 ・ 鹿児島で読書バリアフリー、特にディスレクシアの話聞くのは初めてのことで、画期的な研修会でした。特に河野先生の話はすべての先生方や図書館員に聞いていただきたい。もっと収容人員の大きい会場だと良かったと思います。 ・ 金沢星稜大学の河野先生のお話は、具体的な事例も多く、知らないことをたくさん知ることができて良かった。湧水町立栗野中の松田先生のお話はとてもユニークで実践してみたいと思いました。先生の行動力素敵です！！専修大の野口先生のお話も参考になりました！ ・ 知らない分野を丁寧に教えていただき感謝します。今、どの保育園でもクラスに一人か二人多動児がいるのが現状です。もしかしたら就学前の子どもたちへの支援も必要なのではないか

と思いました。早ければ早いほどの良いのではないかと、個性という受け取り方もありますが、それ以前の何かがあるような気もしました。

- ・マルチメディア DAISY 図書について、初めて知ることができた。学習障害について知っているつもりが、知らないことがまだまだ多く、今回、より深く知ることができた。
- ・河野先生の講話が大変参考になりました。現在文庫活動をしていますが、自閉症の男の子(小4)への接し方のヒントが学べたと思い参加しました。知らなかったこと、勘違いしていたことなどが分かり、受講できて本当に良かったと思いました。また、DAISY 図書の価値にも気づくことができました。きめ細かな読書活動で、障害を持っている子どもたちに対応していくよう、常に学んでいくことの大切さを痛感しました。野口先生の講話では“タニマー”についてが印象に残りました。そういう環境のことも意識して今後活動していきたいです。
- ・今の学校に LD 等学習障害の子どもが多いので、その子たちを理解する上で、とても勉強になりました。
- ・支援を必要とする子どもに対しての読書支援をどのようにすればよいか分からずいたときにこの講演に出会いました。3人の方、それぞれの視点からとても分かりやすく納得することができました。この会のことを学校に持ち帰り、先生方へお伝えしてお互いに学んでいけるようにしたいと思います。
- ・本校は小学校で「特認校制度」を取り入れています。近隣の小学校で支援を要する児童(支援学級には入級していない)が多く通学しています。約30%の児童が、学習を通常学級で困難な状況です。もちろん図書館でも同じで、長文読解が難しいので、絵本や図鑑に偏る児童が多いです。DAISY 図書を活用させていただいていますが、児童は集中して読むことができます。今後も広く活用させていただきたいと思います。
- ・学習障害をもっている子どもたちのことやその支援について知ることができて良かったです。どんな人たちにも読書(本)は平等に届くべきだと思いました。そのためにはいろいろなカタチを変えながら、読む人たちに合わせた読書の提供が必要だと改めて感じました。
- ・司書の授業では学習障害の具体的な話を伺うことがなかったので勉強になりました。
- ・学習障害について学べてよかったです。どの講座も参考になった。
- ・知らないことがたくさんあり、大変勉強になりました。すべての教員に知ってほしいと思いました。ぜひ学校図書館で活用したいと思います。
- ・初めて研修会を受講しました。以前受講された方からとても勉強になったということを知っていたので、楽しみにしていました。今まで知らなかったことも多くありましたし、今後もいろいろと勉強しないといけないなと感じました。
- ・実際の現場の話を知ることができて良かった。図書館でもマルチメディア DAISY を活用させていただきます。とても良い勉強をさせていただきました。
- ・障害を障害であるという意識を持たない、持たせないために、図書館運営や読書活動をするためには、どうすればよいか…その気づきを与えてもらった研修だから良いと感じました。読書の垣根を越えたり、障害だけでなく高齢によっても読書の機会を奪われてしまうのは、非常に残念です。バリアフリーの考え方をちょっと目先を変えるだけでできそうだった。
- ・学習障害について、具体例を知ることができ、勉強になりました。また、学校での実践事例等もあり、取り組みの必要性を感じました。
- ・中々自分で勉強できないこと、知らないこと、いろいろ知ることができて良かったです。環境整備は大事だなと思いました。
- ・具体的な取り組みを聞かせていただいて勉強になりました。
- ・マルチメディア DAISY のことを具体的にわからずにいた点がようやく理解できたのかなあと感じます。知りたかったことがだいぶかゆい所に手が届く研修会だったと思います。
- ・障害のことから使い方、実践例に至るまで知ることができて良かった。

- ・知りたいことを知ることができました。図書館に置ける障害者サービスの概念が変わった気がします。内容がとても充実していたので、もっといろんな方に参加して欲しかったなと思います。公共図書館、学校図書館、教員、それぞれの立場で出来ることが異なると思うので、協力していろいろな人たちが生きやすい社会になるといいなと思います。
- ・現在小学校に勤務していますが、通常クラスに読みの苦手な子どもたちが多いです。なので実際の取り組みや読みの苦手な子どもたちの現状などを聞くことができ、少しずつですが、教員にも相談しながら子どもたちへ読書の楽しさを伝えていきたいと思いました。
- ・読み書き障害やディスレクシアという言葉を知ることができたのですが、どんなものかを、じっくり学ぶ機会がなかったので、いろいろと知ることができてよかったです。また、さまざまな要因で読書ができない状態にある人もいることが分かりました。身近にそういった方がいないと忘れてしまうけれど、話を聞いていて好きな本を好きな時に読めるというのは、幸せなことだなあと感じました。「読みたいのに読めない」という中にもいろいろな理由があることを気づかされました。
- ・公共図書館の職員ですが、“マルチメディア DAISY 図書”等良く知らなかったもので、参加できて良かったです。
- ・学習障害について、理解が深まりました。マルチメディア DAISY の活用を進めたいと思います。
- ・学習障害の具体例が分かり、「そうだったんだ」と勉強になりました。どの学びも本当に素晴らしかったです。貴重な学びの機会を設けて下さり、ありがとうございました。
- ・読み書き障害について理解することができた。マルチメディア DAISY について知ることができた。
- ・昨年の研修会(2月県図書館)で初めてマルチメディア DAISY を知り、勤務校にも活用させていただくようになりました。まだまだ有効に活用できていないので、栗野中の松田先生の取り組みや河野先生、野口先生のお話を聞いて、しっかりと活用できるようにならねばと、気持ちを新たにしました次第です。今日は参加させていただき本当に良かったです。
- ・河野先生の講演が聞いてとても良かったです。
- ・学習障害について、理論的具体的にお話が聞いて良かった。
- ・マルチメディア DAISY の学校での実践が良かった。
- ・ディスレクシアの言葉は知っていても、具体的には何も理解できていませんでした。LL ブックを図書館で少しずつ購入していても活用法を見いだすことができませんでしたが、本日の研修で、読み書き障害がどのような特徴なのかを理解することができました。
- ・とても分かりやすく、学習障害とはどのようなものなのかが良く分かりました。自館でできることから、少しずつ考えていけたらと強く感じました。
- ・1 コマ目において、写真を撮影しても良いというのが、新鮮でたくさんの資料も撮影することで、後々ゆっくり見返すことができるのがありがたかったです。2 コマ目では具体的な事例をきくことができ、興味深く楽しかったです。3 コマ目では公共図書館に勤める司書として耳が痛くもあり、大変勉強になりました。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。
- ・未記入:2

やや満足の理由

- ・高等学校でマルチメディア DAISY がどう使えるのか、少しでもお話を聞けると嬉しかったのですが、知らないことがたくさんありましたので勉強になりました。
- ・午後が少し長く感じました。LD、発達障害の支援の区別を知りたかった。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・何故無償で提供できるのだろうと不思議でした、何かきっかけがあったのでしょうか…。この取り組みが消えないようにと思いました。もっともっと多くの人に参加してくれたらいいのにと思いました。
- ・書籍販売、リーディングトラッカーなどの販売があるといいなあと思いました。
- ・ていねいな対応に感謝しております。またぜひこのような機会をお願いします。子どもたちの保護者、関係職員で参加したいです。
- ・財団の方の思いを直接お聞きできてとても良かったです。とても勉強になりました。
- ・またぜひこのような会を開催してください。お願いいたします。
- ・読み書き障害の子どもたちは特別支援教育の対象でないことを改めて認識した。読むことが苦手な子は努力が足りないとされていることに驚いた。このような子どもたちの合理的な配慮についてもっと多くの人に知ってほしいと思う。参加者に名札まで準備していただきありがたいです。
- ・今回の企画はとても良かったです。また鹿児島で開催して欲しいです。鹿児島での開催が少しでもバリアフリーの改善に寄与できると良いと思いました。お疲れさまでした。
- ・できることでしたら、新しい情報、知識が鹿児島には届くことが少ないので、伊藤忠記念財団のHPで情報などを公開していただけたらと願います。
- ・現在知的障害学級(小学校)の担任をしています。学級の子と一緒に、毎日図書館に通っていますが、正直これで良いのか？この子は本の内容を理解できているのだろうか？このまま続けていても効果は上がらないのだろうか？という迷いがありました。しかし今回の学習でアプローチの仕方にもさまざまな形があることを知り、読書の活動を続けていくことに自信がつかしました。子どもの実態を見ながらアプローチを続け読書による豊かな心を育てていきたいと思えます。
- ・とても良い機会をいただきました。無理のないスケジュールで内容もポイントをおさえてあり、分かりやすかったです。道づれ作戦…意識して子どもたちに接していきたいと思えます。
- ・マルチメディア DAISY 図書は、CD 媒体だけでしょうか。学校で自由に使えるパソコンが CD 読込機器が不接続のものなんです…。
- ・今回の講座に参加することができ、本当に良かったです。この事業をこれまで積み上げられてきたことに感服いたします。道づれ作戦のりました！！これからも頑張ってください。応援します！！
- ・昨今小学校のみならず中学校でも支援学級はどんどん増えています。しかし、担任をはじめ、あまり支援教育が学校では認識不足です。この読書のバリアフリー研究会がより多くの先生方も学べる機会が増えてくれると良いです。素晴らしい研修会に参加できました！前任校で取り寄せ、新しい学校でも新規活用させていただいています！
- ・公共図書館で実際に運用している事例も聞いてみたかったです。手話のおはなし会(島根の海土町も!)の話は興味深かったです！
- ・ワークショップのような、動いたり、今日来られている方たちと少しでもお話しできる環境が欲しかったです。
- ・マルチメディア DAISY を活用したいと思えます。
- ・矢部さんと中村さんの熱意を感じました。
- ・「障害」を持つことの不便さ、辛さを知りませんでした。ちょっとだけですがのぞかせてくださってありがとうございました。また、こんな学ぶチャンスを作ってください。お疲れさまでした。
- ・勤務している高校は「特別支援教育」に力を入れていますので、何かしらヒントがもらえるかも、と思って参加しました。読み書きが困難な生徒が多々います。図書館司書として、そんな高校生に対し、何かできないだろうか…それを毎日考えています。

・公民館でももらえるのか(DAISY)知りたかったです。

・未記入:22